

平成24年播種用

水稻種子の取扱い

平成23年産 採種圃産種子

- 採種圃産種子の生産・出荷に当たっては、「集団専門栽培採種圃設置管理運営及び生産・管理出荷基準」を設け、基準を遵守しております。
- なお、種子純度確保の観点から、主要品種について原料出荷前にDNA鑑定を実施し、適正な原料を買入、製品製造後再度DNA鑑定を実施し、適正と判断された製品を供給します。
- 平成23年産種子は全体に大粒です。
平成22年産種子同様播種機の播種量調整を行って下さい。

平成23年産 種子の品質状況について

- 徹底した「いもち病」封じ込めに向け、採種組合においてはフルコース防除（種子消毒、育苗箱施用、水面施用、基幹防除）の実施や発生予察による早期対策の徹底、また、地域の普及センターと連携した巡回強化等に取り組んでおり、「北海道水稻種子いもち病対策協議会（北海道・道総研・病害虫防除所・ホクレン・北海道米麦改良協会）」にて、種子の品質について精査し、問題無い事を確認しております。

平成24年播種用種子はすべて、平成23年産です。

平成24年播種用種子の発芽勢・発芽率（%）

年産	区分	品 種	一 般			消 毒		
			水分	発芽勢	発芽率	水分	発芽勢	発芽率
H23	採種	きらら397	14.7	96.6	97.3	15.4	96.4	98.3
		ななつぼし	14.9	96.3	98.0	15.5	97.4	98.9
		ふっくりんこ	14.6	97.3	97.9	15.4	97.8	98.6
		ゆめぴりか	14.9	97.6	98.0	15.6	97.1	98.1
		おぼろづき	15.0	96.3	97.9	15.5	96.8	98.4
		あやひめ	14.9	94.6	98.2	(発芽試験：24年1月、種子センター実施)		
		ゆきひかり	14.4	89.0	97.3			
		彗 星	13.6	93.5	96.0			

* H23年産の他の品種のデータは、別途ホクレンより連絡します。

消毒済種子の薬剤は

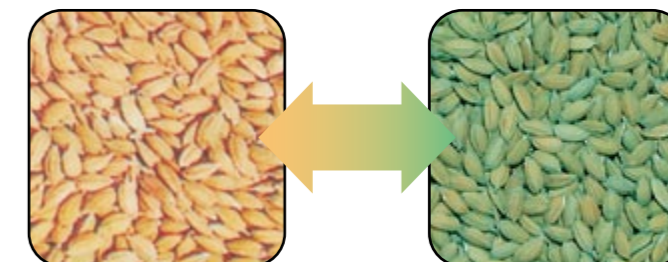
「モミガードC・DF」です

消毒済種子のメリット

- 作業労力の軽減
- 消毒の均一化
- 薬剤のムダを省く
- 環境汚染の防止

消毒済種子の着色による区別

着色剤により色をつけ、未消毒のものと区別しています。



■未消毒の種子

■消毒済のうるち・もちの種子
消毒の方法：モミガードC・DF7.5倍液、乾燥種子重量の3%吹付

消毒済種子の使用上の注意

- ①塩水選をすると薬剤が落ちるので塩水選は行わない。
- ②浸漬・吸水に当たっては、下記の浸種・催芽を参考にする。
- ③浸漬水を交換するときは静かに取り替える。
- ④流れ水、留め池等での浸漬は行わない。
- ⑤消毒済種子は、食料に供したり、家畜に与えたりできません。余った場合は、必ず適切に処理する。
- ⑥浸漬した後の水は、用排水路・河川には絶対流さない。
- ⑦消毒済種子の空き袋は必ず適切に処理する（食料等に供するものには絶対使用しない）。

浸種・催芽

- 水温・日数：11～12℃で7～9日
- 水の交換：2～3日に1回交換する
- 催芽温度：30～32℃

催芽（はと胸程度）を確認して播種する。

循環式催芽機を使用して催芽する場合は、必ず食酢を用いて消毒する。

- 温湯消毒する場合、60℃10分間 または 58℃15分間を厳守する。

水稻種子の紙袋について

包装相違事故防止に係る改善策として、下記のように品種別に紙袋下部の色分けを行い区別し事故の再発防止に努め取り進めております。

1. 品種別区分

(1)色帯線の品種（9品種）

きらら397・ほしのゆめ・ななつぼし・ゆめぴりか・大地の星・ほしまる・あやひめ・おぼろづき・彗星

(2)下部クレープ色分け品種（7品種）

ゆきひかり・ふっくりんこ・吟風・はくちょうもち・風の子もち・しろくまもち・きたゆきもち

2. 全品種の紙袋の裏面に品種名を印刷表示

3. 水稻種子の紙袋について

主要農作物種子法による生産物審査証明書について

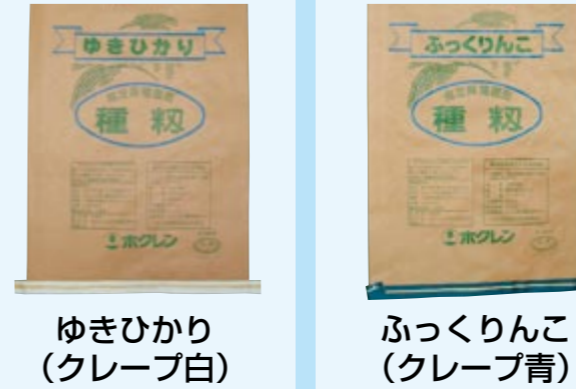
平成17年産より、種苗法施行規則に基づく表示の取扱いが改正された事に伴い、種子袋へ印字により表示しております。

4. 製品ロットNo.調製月日について

(1)4cm角ラベルに印字された物を貼付け。(2)調製日は、〇〇.〇〇.〇〇と表示。

(3)ロットNo.については、調製ラインごとに1~4で区別。(1-000000で連番管理)

(4)ロットNo.を控えておくことにより、万が一の時トレースが可能。



消毒済種子は、紙袋の表面上部及び裏面に記載されてます



製品ロットNo. 調製月日ラベル 貼付例



種子は毎年更新しましょう
(北海道米あんしんネット、種子更新100%が産地評価の基本です)

※浸種作業の際についても、異品種混入防止の為、荷札をつけるなど取りちがいのない様十分注意願います。